
	<p>横浜市立大曾根小学校</p> <h1>学校だより</h1> 	<p>令和元年8月27日</p> <p>TEL 542-1785 FAX 541-0949</p>
---	---	---

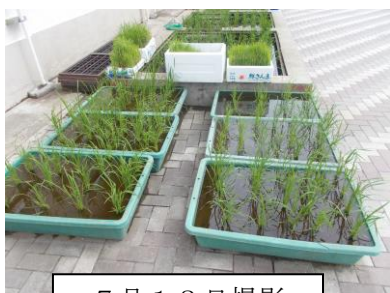
ひと夏の成長

副校長 中里 充

38日間の長く、そして暑い夏休みが終わり、久しぶりに元気な子どもたちの笑顔が戻ってきました。

今年の夏も、厳しい暑さが続き、熱中症や水の事故などが心配される毎日でしたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしたでしょうか。

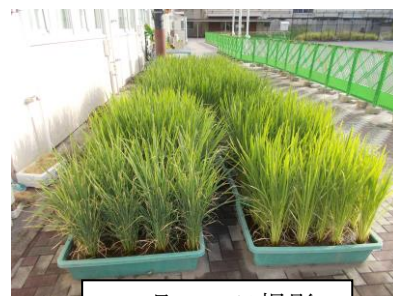
私が子どもの頃は先生や親に、「午前中の涼しいうちに宿題をやりなさい。遊びはそのあと!」と言われたものです。そして私自身も教員になりたての頃は同じように、クラスの子どもたちに夏休み前の学級指導で言っていました。それが最近の夏は、朝から気温30度を超える日も珍しくありません。そのような厳しい暑さの中、子どもたちは様々な体験をし、自分で立てた夏休みのめあてに取り組み、有意義な時間を過ごせたことと思います。この学校では味わえない貴重な経験を通して、子どもたちは心身ともに、一回り大きく成長したことでしょう。



7月13日撮影

さて、左の写真は、5年生がJAの方に教えていただきながら熱心に育てている稲です。夏休み直前は稲の背丈も低く、稲と稲の間から田んぼの水面がはっきり見えています。それが夏休みの一か月で…。

右の写真はちょうど一か月後の様子です。根をしっかりと張り、分けつも進み、背丈も60センチメートルを超える



8月14日撮影

るほどに成長しました。

「米は八十八の手間がかかる」と言われますが、5年生の子どもたちはこの暑い夏休みも水やりと観察を欠かさず行っていました。夏休み直前は梅雨空が続き、日照不足で作物への悪い影響が心配されましたが、梅雨明けすると連日の晴天と猛暑。この太陽の恵みと子どもたちの愛情たっぷりの水が稲を一か月でここまで成長させました。これから稲穂が垂れる実りの秋を迎えますが、稲作には中干しや雀対策など、この後もまだまだ手間がかかります。子どもたちにとって手間をかけた分、収穫の喜びはとても大きいことでしょう。

38日間の夏休みも終わり、前期後半のスタートです。大曾根小学校はこの夏、1名の転入生を迎え、全校児童が808名となりました。夏休み中に行われていた校庭整備ももうすぐ終わります。9月に入ると、広く平らになった校庭で運動会に向けての練習が始まります。これからも、子どもたちにとってよりよい成長となるよう、様々な教育活動に取り組んで参りますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。